

【諸般の報告・その他の関係】

問 宇野 裕委員

血清研究所の廃止について、廃止はやむを得ないが、後の対策をきちんとしてもらいたい。

廃止に伴い、ワクチンの材料として使う熟卵の納入業者への影響が生じると思われるが、県内で熟卵の納入業者は何社あるのか。また、過去3年間の実績はどうか。

これら納入業者への対応については、どう考えているのか。

また、職員の人事については、パートを含め、不安のないように、できるだけ希望がかなえられるようにしてもらいたい、どう考えているのか。

---

答 大村血清研究所管理部長

熟卵の納入業者は、県内が3社、県外が1社である。納入実績は平成13年が2億4千万円、平成12年度が1億7千万円、平成11年度が4千6百万円である。

廃止の発表の後、連絡し、理由の説明も行った。実情を聞いて、必要なものについては、県としてしかるべき措置をとるべきものは対応していきたい。

職員については、知事部局等への配置換えを行う。本人の意向を尊重する。配置先の部局には、職員の状況をよく説明し、配慮をお願いしたい。

知事も本会議で答弁したが、パート、嘱託は、失業しないよう、一人一人、意向を聞き取り、今後のことについて相談したいと考えている。

---

要望

【諸般の報告・その他関係】

宇野 裕委員

血清研究所の廃止について、「熟卵納入業者は、実績が伸びていたところ、それが急になくなるというのでショックを受けている。転業するまでの所得の補償等、温もりのある対応をとってもらいたい。職員についても、不安がない

よう対応されたい。」との要望があった。

---